

2012年(平成24年)

9月17日

月曜日

敬老の日

天気 6 9 12 15 18 21(時)

青森	●	●	●	●	●	0	32
盛岡	●	●	●	●	●	20	31
秋田	●	●	●	●	●	0	24
山形	●	●	●	●	●	10	34
仙台	●	●	●	●	●	10	33
福島	●	●	●	●	●	20	22
新潟	●	●	●	●	●	10	31
長野	●	●	●	●	●	30	24
富山	●	●	●	●	●	30	32
							25
							35
							25
							30
							23
							37
							25



天声人語

植物の知恵はいじらしい。強風や雷、水不足のストレスにさらされた大木は、小さくなつて出直そうとするそうだ。樹木医の石井誠治さんによると、太い枝を新たな幹にするなど、世代交代がうまくいけば、巨樹は同じ遺伝子を継いで生き続ける(岩波ジュニア新書『樹木ハカセになろう』)▼石井さんと木々を訪ねた。神奈川県真鶴半島ではスタジイ、クスノキ、クロマツの大樹が江戸時代から年輪を刻む。仰ぐたびに気圧された。「これほどの密生は珍しい」という▼静岡県熱海市の来宮神社。屈指の大楠は瘤だらけで、もはや岩の趣である。その異形に、NHKの幼児劇で見た「かしの木おじさん」を思った。森の長老は物知りで、居眠りしながら主役の山猫たちを温かく見守る▼加齢の理想像だろうが、昨今のお年寄りはずっと行動的らしい。元気で財布のひもが緩い高齢者を、商いの世界ではブランドジェネレーション(大いなる世代||GG)などと呼ぶそうだ▼若いうちは金がなく、働き盛りは暇がない、待ちわびた定年後には気力体力が尽き、残るは人生訓と説教癖。そんな通説を覆し、旅行に音楽会、おしゃれにグルメと、自ら楽しむ幸せな人たちである▼オリックスのマナー川柳に「かじられたスネ四本が行く足湯」がある。GGの皆さま、どうか必要を超えて蓄えず、国内の温泉あたりで費やし、日本経済を回してほしい。それが、いわゆる世代間格差を和らげることにもなる。祝日に無粋な説法、お許しあれ。

2012・9・17 紙面関連 ◆ご質問03-5540-7616 ◆ご意見03-5540-7615(平日9~21時、土曜9~18時) 購読・配達 ◆お申し込み0120-33-0843 ◆お尋ね03-5540-7715(7時~21時)

朝日新聞東京本社

本日の編集長=平山長雄

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com